

晩秋通信～ 20号 (2006.1)

新年明けましておめでとうございます

昨年は皆様に支えられ、生豆買い付け、焙煎方法など更なる向上を果たすことができました。本年もよろしくお願い致します。

晩秋からのお知らせ

・ 年末年始の営業についてのお知らせ

新年は 1/10 (火) ～1/12 (木) の 3 日間、連休を頂きます。

1/1 (日) ～1/4 (水) は 17 時閉店とさせていただきます。

- ・ 平成 18 年 1 月より、店内全席禁煙とさせていただきます。ご協力よろしくお願ひします。
- ・ ドミニカ・コンスタンサもう少しで販売終了です。
- ・ ケニアまもなく新豆に切り替わります。
- ・ グアテマラ・エルタンボア完売しました。代わりにコロンビア・アグア・アズール発売開始。COE 開催によりトップレベルのコロンビアが入ってくるようになりました。これらに伴い、晩秋ブレンドの配合内容が変わりました。

SCAJ カンファレンス

昨年の 11 月 8、9 日、東京有楽町にある国際フォーラムで晩秋も加入している日本スペシャルティコーヒー協会 (以下、SCAJ) のカンファレンスが行われました。

展示場では、スペシャルティコーヒー生産国の生産者団体がここぞとばかりにブースを出し、日本のメーカーも負けじと新製品の PR を行っていました。

2006 年の晩秋通信第一弾は、SCAJ カンファレンスのご報告からはじめたいと思います。

生産者団体ブース出展



ブースを出展していた生産者団体はブラジル、エチオピア、ザンビア、エルサルバドル、ケニア、コスタリカ、グアテマラ、ニカラグア、コロンビアと 9 カ国。

イギリスのスペシャルティコーヒー・トレーダー (生豆商社) のメルカンタもブースを出して

いました（1ページ目の写真参照）。このお手伝いには私の在職していたトーアコーヒーが担当していました。

各ブースは試飲PRを行っていましたが、中には素晴らしい風味をもったコーヒーもいくつかありました。さすがに全部が全部、スペシャルティコーヒーと言えるレベルではありませんでしたが（飲んで際立った良さがなければ本当の意味でスペシャルティコーヒーとは言えません）、全体的にレベルが高いという印象を受けました。



生産者はブース出展以外に、別室でプレゼンテーションを行い、自国のコーヒーについて説明を行っていました。私もザンビアのプレゼンに参加してきました。

左の写真はザンビアのプレゼン時のものです。

ザンビアのスペシャルティコーヒーを紹介してくれるザンビアコーヒー生産者協会（ZCGA）の

ジョセフ・タグマさんにお会いするのは初めてでしたが、非常に生真面目な方という印象を受けました。

ザンビアは、アフリカ内陸部という特異な環境のため、実際の標高は低いものの中南米の高地で栽培するのに似た環境でコーヒーが生育されており、また、水資源が豊富なため、収穫後の水洗精選処理できれいな水をふんだんに使え、それらによって風味豊かなコーヒーが生産されているとタグマさんは説明していました。

しかし、その一方で経済の状態は厳しく、国民の6人に1人がHIVに感染しているという社会問題を抱えているそうです。

消費国としてそういった問題に対して何かできることはないだろうかと深く考えさせられたプレゼンでした。

エンリケ・カンブライア氏との出会い



現在、晩秋は生豆の手当てを在職していたトーアコーヒー以外に、京都の自家焙煎店タイムズクラブさんの共同購入・勉強会「コーヒーコープ（C-C OOP）」に加入することにより、賄っています。

9日の朝、グループのメンバーが一同に会しました。写真で右端にわずかに写っているのが私、そして左に写っているのがグループの代表、山田優子さ

んです。山田さんは数少ない「カップ・オブ・エクセレンス」国際審査員の一人です。



この日、産地直接輸入でグループが共同購入しているブラジルの農園主エンリケ・カンブライアさんが顔を出しました（写真左の男性です）

エンリケさんは複数の農園のオーナーで、彼のサマンバイア農園、インヴェルナダ農園はカップ・オブ・エクセレンスに入賞したこともあります。

彼の話聞いて思ったことは、スペシャルティコーヒー生産者は、私達、消費者以上に風味の捉えかたに対して敏感であり、真摯にコーヒーを作っているということでした。

どの肥料を使うと、どういったフレーバーが出るのか（例えば、ピーチのフレーバーを出すには何の成分が必要なのか）というところまで色々試してやっ

ていたことでした。彼は自分の作ったコーヒーがお客様にどう評価されているのかを気にしており、昨年のロットを購入したメンバーにお客様の感想を求めていました。

晩秋も今年からエンリケさんの農園の豆を使います。今度、エンリケさんに会う時、晩秋のお客様の感想を伝えられるようにがんばって売り出したいと思います。

まとめ

この他にも焙煎メーカーによるプレゼンや、日本バリスタ選手権で優勝した門脇さんのエスプレッソ実演など、見応えのある展示が多く、また得るものの多いカンファレンスでした。今年は8月に行うそうです。興味のある方は是非参加してみてください。

速報！！

「カップ・オブ・エクセレンス・ブラジル 2005」のインターネット・オークションが1/10（火）に行われます。深夜から始まり、おそらく終了は明け方になるはず。インターネットでオークションの様子をリアルタイムに見ることができます。お時間が許すようでしたら是非ご閲覧ください。<http://www.cupofexcellence.org>

オークション中は番号表示だけで参加者の名前は表示されません。すべて終了した朝方に落札者の名前が表示されます。晩秋は「TIME'S CLUB & C-COOP」という共同購入グループ名で落札に参加します。日本入港は春先です。どんなコーヒーを落札するのか楽しみにお待ち下さい。